

平成21年度
女性アーカイブセンター
企画展示



丹下ウメ (1873-1955)

日本女性初の帝大生、
日米で博士号取得



鈴木ひでる (1888-1944)

日本女性初の薬学博士



保井コノ (1890-1971)

日本女性博士第一号

未知の世界に挑戦した
女性たち、
その実像に迫る！
まだ科学者が女性の職業とは
考えられていなかった時代、
夢の実現に向けて第一歩を踏み出した
バイオニア女性と
それを支えた人々の物語。



黒田チカ (1884-1968)

日本女性初の帝大生、
女性初の理学士



辻村みちよ (1888-1969)

日本女性初の農学博士

女性科学者の誕生

～チャレンジした女性たち～

- 開催期間 平成21年10月6日(火)～12月13日(日)
休館日：10月19日(月)、11月4日(水)、16日(月)、12月7日(月)
- 場 所 独立行政法人国立女性教育会館 本館 1 階
女性アーカイブセンター展示室 (開室時間 9:00～17:00)
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地 電話：0493-62-6195 東武東上線 武蔵嵐山駅下車、徒歩15分
- 主 催 独立行政法人国立女性教育会館 <http://www.nwec.jp/>
- 共 催 お茶の水女子大学、日本女子大学 (五十音順)
- 後 援 **NHK** さいたま放送局

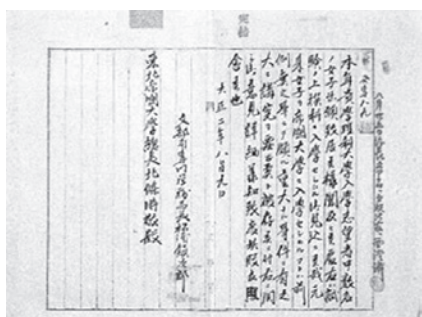
独立行政法人国立女性教育会館女性アーカイブセンターでは、女性に関する史・資料の収集に取り組むとともに、さまざまな分野で「チャレンジした女性たち」を紹介する企画展示をシリーズで行っています。今年度のテーマは「女性科学者の誕生」です。

明治後期から大正時代、女性の高等教育機関は、数も少なく、官立の女子高等師範学校以外は、多くが小規模校で、理科を専門とする学部や学科を持った教育機関も、ほとんどありませんでした。また、当時、科学者・技術者を養成する最高の教育機関といえば、帝国大学でしたが、帝国大学の入学資格者は高等学校卒業生に限られており、女性に門戸は開かれていませんでした。本展では、そのような時代に、強い意志と情熱で数少ないチャンスをつかみ、科学者・技術者の道にチャレンジした、丹下ウメ、保井コノ、黒田チカ、辻村みちよ、鈴木ひでの5人を取り上げます。5人の女性が、いかに困難に立ち向かい、後進のために道をつくっていったか、そして彼女たちをどのような人々が支えていたのかをご覧ください。いま、科学技術分野で女性が活躍できる社会をつくってゆくためのヒントが、きっと見つかるにちがいありません。

丹下ウメ

(1873-1955)

農学博士、栄養化学博士。ビタミンの研究者。黒田チカとともに女性初の帝大生となる。日米で博士号取得。



東北帝大への女子入学に関する文部省からの照会文書(T) (複製展示)

保井コノ

(1880-1971)

理学博士。植物組織・遺伝学の研究者。日本において女性初の博士号を取得。

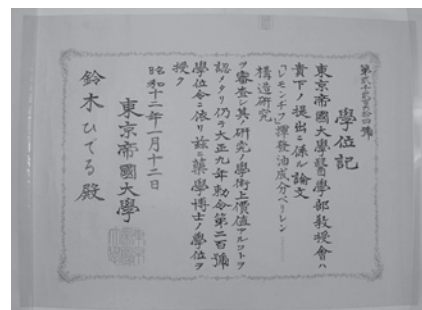


保井コノ手書き図版(まつばたん)(G)

鈴木ひでる

(1888-1944)

薬学博士。薬化学の研究者。レモン紫蘇の揮発油成分の構造を確定。女性初の薬学博士。



鈴木ひでる学位記(N)

辻村みちよ

(1888-1969)

農学博士。緑茶の研究。緑茶の成分カテキンを取り出すことに初めて成功。女性初の農学博士。



辻村みちよ使用の天秤(G)

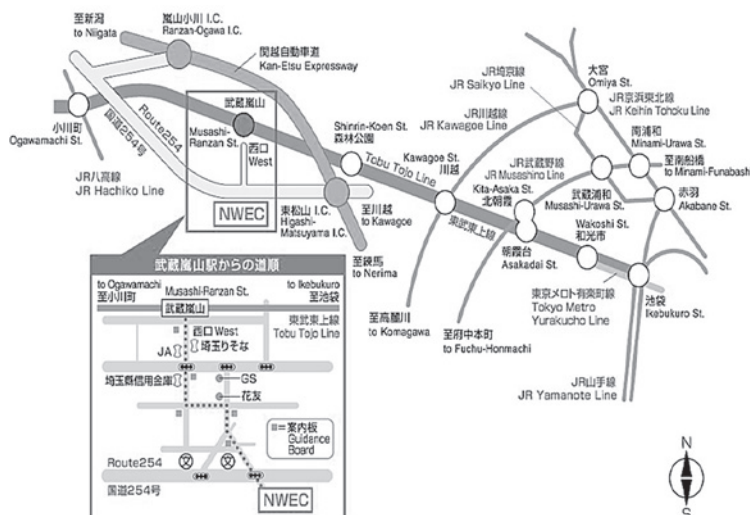
黒田チカ

(1884-1968)

理学博士。天然色素の研究者。丹下ウメとともに東北帝国大学に入学。病気で休学した丹下より一足先に卒業、女性初の理学士となる。



黒田チカ作成紅花の標本(G)



展示資料点数：25点、写真点数：49点

展示資料・写真提供：お茶の水女子大学ジェンダー研究センター(G)、お茶の水女子大学附属図書館、東京大学柏図書館、東京大学大学院理学系研究科附属植物園、東北大学史料館(T)、日本女子大学成瀬記念館(N)、北海道大学大学文書館、独立行政法人理化学研究所



独立行政法人 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地

TEL 0493-62-6195 <http://www.nwec.jp/>